

平成7年度 保育園入園申請受付

集合受付 11月29日・30日
横越村役場多目的ホール

◎入園資格
村内に住所を有し、保護者が勤労または疾病などで家庭において十分な保育が行われない幼児。

◎園別定員

園名	定員	対象幼児	該当地区
中央保育園	150名	未満児・3歳児・4歳児・5歳児	横越・川根谷内・焼山
双葉保育園	110名	未満児・3歳児・4歳児・5歳児	木津・二本木
沢海保育園	60名	3歳児・4歳児・5歳児	沢海
小杉保育園	60名	3歳児・4歳児・5歳児	小杉・藤山・駒込

◎集合受付及び場所

地区	月日	時間	場所
横越 川根谷 沢	11月29日(火)	午前8時30分～ 午後0時	横越村役場 多目的 ホール
木津 二本 小杉 駒	11月30日(水)	午後1時～ 5時	

◎申請に必要なもの
一、入園申請書
二、保育を必要とすることを証明する書類(勤務証明書、内職証明書、医師の診断書)
※現在入園中の園児でも引き続き入園を希望する場合は必ず手続きをしてください。



たのしい昼食

村内保育園一日の保育内容	
8:30	登園
9:00	集団および個別的保育
11:15	昼食準備
11:45	昼食
12:45	おひるね
14:45	おざめ
15:00	おやつ
15:45	降園
16:00	

消防団秋季合同演習 第四分団が県大会出場に



県大会出場をきめた第四分団

十月十六日、横越小学校グラウンドで横越村消防団の秋季合同演習が開催されました。消防団は、日頃からその活動が発揮できるようにと分団ごとに訓練を積んでいます。一回合同演習を行っています。当日は、村議会副議長や新潟南警察署長などの来賓を迎え、田村顯宏団長以下団員約二百名が参加して行われました。今年には特に来年の県消防大会の小型ポンプ操法の三市中蒲原地区代表予選会を兼ねたこともあり、各分団の操法訓練の熱の入れようは例年以上。ホースの装着から放水まできびきびとした動作で練習の成果を披露し、その技術を競いました。結果は次の通りです。

岩橋光御さん(川根谷内)が十月二十一日、人権擁護委員の



おめでとつございます
法務大臣表彰

新潟県消防協会表彰
功績章 今井 孝 (木津)
三市中蒲原地区支会表彰
精勳章 高橋慶三 (横越)
北上正幸 (沢海)
内山周栄 (木津)
今井克司 (木津)

第一位 第四分団(小杉)
第二位 第六分団(藤駒)
第三位 第二分団(沢海)
第四分団は来年八月に新井市で開催される県大会に出場することが決まりました。その後、消防活動に尽力した消防団員の表彰伝達式が行われ演習が終了しました。

横越村農協は 亀田郷みなみ農協に



予備調印書類に署名

十月三日に亀田町町民会館において「横越村農協」(五十嵐組合長)と「亀田町農協」(今泉組合長)との合併予備調印式が浅見村長、阿部町長を立会人として行われ、来年二月からは

長年の功績により、法務大臣表彰を受けられました。岩橋さんは、昭和四十一年に人権擁護委員を委嘱されて以来、二十八年間地域住民に対する人権思想の普及高揚に尽力され、地域住民の良き相談相手となつて、厚い信頼を得られています。また、新潟人権擁護委員協議会常務委員を十三年間務められました。この顕著な功績でこのたび法務大臣表彰を受けられました。

※ 申請書類は役場保健福祉課と各保育園にあります。
◎ 受付期間
11月10日～30日
※ なるべく集合受付の日においでください。それ以外は保健福祉課で受付を行います。
◎ 入園決定通知
平成7年1月中旬頃に個人あてに通知します。



より豊かな老後のための 農業者年金にご加入を

農業者年金は「農民にもサラリーマン並の年金を」という農業関係者の要望を受けて、農業者の老後の生活の安定と、農業経営の若返りや規模拡大を図るために作られた制度です。他には例のない高率の国庫補助制度があり、民間の年金と違って大変有利な年金です。村では十一月と十二月を農業者年金加入促進月間として加入運動に取り組みます。

▽加入資格
国民年金の第一号加入者で
①自分名義の農地面積が五十アール

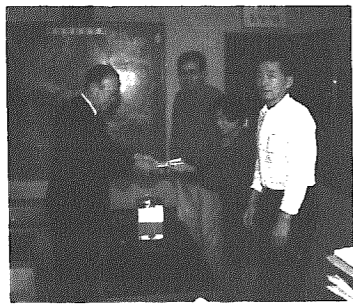
以上の農業経営主。
②自分名義の農地面積が三十アール以上五十アール未満で年間農業労働時間が七百時間以上の農業経営主。
③①または②の要件を満たしている者の後継者で農業従事期間が通算して三年以上の者。三十五才までは約三割の保険料の割引制度もあります。まだ加入していない農業者の方は、一日でも早く加入しましょう。

▽詳しいお問い合わせは
農業委員会、農協本所へ

新教育委員に 角田積悦氏



九月三十日をもって任期満了した教育委員の目黒藤一郎氏の後任に角田積悦氏が九月定例議会で満場一致で同意されました。角田氏は沢海在住の六十二歳。



寄附金を村長へ

木津工業団地は平成二年に完成し、現在企業が十六社操業していますが、企業関係者から木津工業団地内の案内板が無くなりかけているとの声が多く寄せられていました。そのため、団地内の二箇所に案内看板を設置したものです。

商工会三団体「福祉の街づくり基金」を村長へ

「亀田郷みなみ農協」として生まれ変わるようになりました。厳しい農業環境のもと、全国的に農協の合併が進められるなか、両農協は経営基盤の強化をはかるため、昨年二月から合併のための準備をすすめて来ました。昨年十月に合併協議会を作り合併のための条件整備を行うとともに、組合員への説明会を重ねて今回の予備調印式となりました。これをうけ、十月二十三日には合併総会が開催され、来年二月一日に正式に合併することが決定しました。

合併後は本所は現在の亀田町農協を使用し、村にある本所は基幹支所となります。

木津工業団地に案内看板
進出企業で組織した木津工業団地連絡協議会では村から補助金を受け、このほど案内看板を設置しました。

九月二十七日に木津工業団地の案内看板の除幕式が浅見村長、谷井商工会長はじめ関係者が集いとり行われました。



除幕式

第5回横越大祭で横越村商工会青年部、婦人部、飲食店組合の三団体が、横越大祭の参加者に「福祉の街づくり基金」への募金を呼びかけた結果五、〇二二円の善意が寄せられました。十月十八日に三団体の代表者は大祭の売上金の一部を加え、社会福祉に役立ててほしいと三六、五二〇円を村長に手渡ししました。

村ではこの寄附金を村社会福祉協議会へ伝達しました。